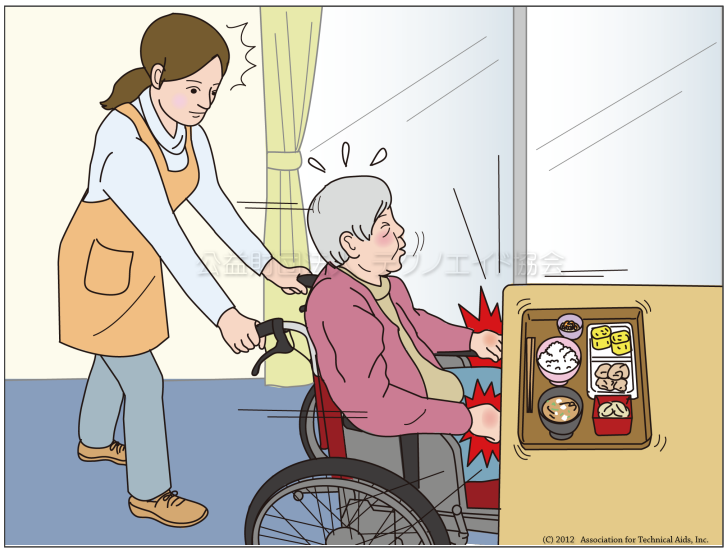
Case：124

テーブルに手をぶつけ、ケガをしそうになる

場面の説明

介助者が、テーブルの高さと車いすに乗せている利用者の手の位置関係を確認しなかったため、利用者の手が食卓テーブルにぶつかってしまった



利用シーン	移動 食事
主な利用場所	ダイニング・食堂
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介助者の不注意が原因で起こる事例ですが、残念ながら多くの頻度で発生しています。注意を払うことが何より大切ではありますが、身体に合っておらず座りにくい車いすを利用するとアームサポートをしっかりと握って身体を支えることにつながり、このような事例も起こりやすくなると思われます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：テーブルと肘掛けの位置関係を確認していない
モノ：アームサポートの位置が高すぎた
環境：テーブルの高さが低すぎた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.